

出倉秀男氏及びアダム・リャオ氏に対する日本食普及の親善大使任命

2月26日、農林水産省は、2016年の「日本食普及の親善大使」として国内及び海外の日本食関係者等21名を任命した旨を発表しました。オーストラリアからは料理研究家の出倉秀男氏とアダム・リャオ氏が同親善大使に任命されました。「日本食普及の親善大使」は、日本食・食文化の海外への普及をより一層推進することを目的に2015年に始まった制度ですが、海外で活躍されている方が任命されるのは、本年が初めてとなります。出倉秀男氏及びアダム・リャオ氏は、共にオーストラリアにおいて幅広く日本食・食文化の普及に貢献されており、これからもメディアなどを通じ引き続き日本食・食文化の魅力についてさらにご紹介いただくことが期待されています。



出倉秀男氏

1974年に日本食のケータリング事業を開始した豪州における日本料理の草分け的存在。現在はシドニー北部で日本食キッチンスタジオを主催する傍ら、シドニーを中心に料理評論家、日本料理講師、日本食に関する書籍の執筆活動などを行いその著書は18冊を超える。2007年第二回日本食海外普及功労者表彰受賞。2015年外務大臣表彰受賞。



アダム・リャオ (Adam Liaw) 氏

2010年に料理番組「Master Chef」で優勝、その後セレブリティ・シェフとしてテレビや新聞で活躍。流暢な日本語を話し、それを駆使して日本国内の食材を取材し紹介する番組「Destination Flavour」がSBSで放映され、DVDとして販売されるなど人気番組となっている。Fairfax社の週刊紙Good Foodにて定期的にコラムを執筆、レシピ本も先日4冊目を発行した。